

第10回九州学生陸上競技新人選手権大会 競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2025年度日本陸上競技連盟競技規則(以下、競技規則という)および競技会における広告および展示物に関する規程、本大会競技注意事項および申し合わせ事項に基づいて実施する。

2. 招集について

- (1) 招集所は、第1コーナー付近に設置する。
- (2) 招集は、以下の手順で行う。
 - ① 招集開始時刻になり次第、招集所において、競技者のシューズ、スパイク、アスリートビブス、商標について確認する。商標に関しては、「競技会における広告および展示物に関する規程」および「3. 競技場内で着用できる衣類と競技場に持ち込める物品について」に従い、確認を行う。
 - ② スタート場所または競技場所において、最終コールを行う。
- (3) 代理人による招集は認めない。他の種目と招集時刻および競技時間が重複する場合は、招集所に重複出場届(招集所で配付)を提出すること。
- (4) リレーのオーダーについては、メンバーおよびオーダーの変更の有無に関わらず、ラウンドごとにオーダー用紙(インフォメーション・センターで配付)を招集所に提出すること。提出締切は招集完了時刻までとし、提出が遅れた場合は出場を認めない。これ以降のメンバーおよびオーダーの変更は、競技者の発病・負傷等によるものに限り、さらに主催者の任命した医務員の判断がない限り認められない。また、招集開始時刻になり次第、メンバー全員で招集を受けること。
- (5) 招集完了時刻に遅れた場合は、出場を認めないので十分に注意すること。
- (6) 原則的な招集開始時刻と招集完了時刻は、以下のように定めることとする。但し、トラック種目に関しては組によって招集時刻が異なる場合がある。種目ごとの招集開始時刻と招集完了時刻は、本連盟のホームページに掲載する「競技日程」を確認すること。

	トラック種目	棒高跳	その他 フィールド種目
招集開始 時刻	競技開始 30分前	競技開始 90分前	競技開始 60分前
招集完了 時刻	競技開始 20分前	競技開始 80分前	競技開始 50分前

3. 競技場内で着用できる衣類と競技場に持ち込める物品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」により、競技者が競技場内で着用する衣類等に表示できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの数と大きさについては、以下の通りである。事前に確認しておくこと。違反となる場合には、テープ等でマスキングを行う。

(1) アスリートキット

① 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンス等)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット(トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット)

- ・ 製造会社名/ロゴ 上衣、下衣1つずつ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ スポンサー名/ロゴ 上衣、下衣1つずつ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
ただし、上下全く同一のものでなければならない
- ・ 所属団体名/ロゴ 上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ
上衣後ろは高さ4cm以内、他は5cm以内 それぞれ長さは問わない
- ・ 学校名/ロゴ 上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ 大きさは問わない

② 競技中に競技者が着用するその他のアパレル(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、メガネ、サングラス、リストバンド、前腕バンド等)

- ・ 製造会社名/ロゴ 1つのアパレルにつき1つ 大きさ6cm²以内、高さ3cm以内
- ・ 所属団体名/ロゴ 1つのアパレルにつき1つ 大きさ6cm²以内
- ・ 都道府県名/ロゴ、学校名/ロゴ 大きさは問わない

(2) 個人の所有物およびアクセサリー

① タオル

- ・ 製造会社名/ロゴ タオル1枚につき1つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ スポンサー名/ロゴ タオル1枚につき2つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ 数と大きさは問わない

② バッグ

- ・ 製造会社名/ロゴ 数は問わない 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ スポンサー名/ロゴ 1つのバッグにつき1つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ 数と大きさは問わない
※スポンサー名/ロゴのうち1つを、以下に変更できる
 - ・ 所属団体名/ロゴ 1つ 高さ5cm以内 長さは問わない
 - ・ 学校名/ロゴ 1つ 大きさは問わない

③ 飲料ボトル

- ・ スポンサー名/ロゴ 1つの飲料ボトルにつき2つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
※ペットボトルを持ち込む場合は、ラベルをはがすこと

4. 靴底の厚さに関する規定について

本大会では、競技規則 TR 5.2 に基づき、以下に示す規定を満たしていない競技用靴を着用する競技者の出場を認めない。

種目	靴底の最大の厚さ	補足
800m 未満のトラック種目 (ハードル種目を含む)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
800m 以上のトラック種目 (障害物競走を含む)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
フィールド種目(三段跳を除く)	20mm	すべての投てき種目、高さの跳躍、および三段跳を除く長さの跳躍種目に適用する。すべてのフィールド種目において、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、かかとの中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	20mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、かかとの中心点の靴底の厚さを超えてはならない。

5. 不出場について

大会の運営を円滑に進めるため、競技者は不出場を極力避けること。やむを得ず不出場となる場合は、以下の要領で申し出ること。無断での不出場に対しては、その競技者の今後の本連盟主催大会の出場を認めない等の厳しい処分を課す場合があるので、十分に注意すること。

- (1) 10月13日(月)までに不出場となることが決まっている場合は、本連盟ホームページから不出場届をダウンロードし、10月13日(月) 23:59までに本連盟へ FAX で送付すること(郵送は不可)。
- (2) 10月14日(火)以降に不出場となることが決まった場合には、大会当日、不出場届(インフォメーション・センターで配付)に必要な事項を記入して、招集所(第1コーナー付近)とインフォメーション・センター(陸上競技場玄関付近)の 2 カ所に提出し、承認を得ること。なお、この手続きを行えば、その競技者はそれ以降の競技に出場できる。

6. アスリートビブスと腰ナンバーカードについて

- (1) アスリートビブスは、本連盟が指定した2025年度の登録番号が書かれているものを使用すること。
- (2) アスリートビブスは、ユニフォームの胸と背に確実につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸・背のいずれかにつけられればよい。また、アスリートビブスの折曲げは禁止する。

- (3) トラック競技では写真判定装置を使用するため、競技者は、招集所で配付される腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字が見えるようにつけること。このとき、競技中に外れることがないよう確実につけるようにすること。また、3000mSC、5000m、10000m、4×400mリレーについては両腰につけること。
- (4) 1500m、3000mSC、5000m、10000mでは、布製の腰ナンバーカードを使用するため、フィニッシュ後に返却すること。それ以外の種目では、使い捨てのものを使用するため、フィニッシュ後に返却する必要はない。

※競技規則TR 5.7～5.11を参照すること。

7. 競技の抽選・番組編成について

- (1) トラック競技の準決勝以降の組み合わせは、主催者が公平に抽選し、決まり次第、本大会速報サイトに掲載する。速報サイトについては、本連盟のホームページや本大会のプログラムを確認すること。また、記録掲示板は設置しないので注意すること。
- (2) トラック競技における次ラウンドへのプラス選出の際に、タイムが同じ競技者が複数出て次ラウンドに進出する競技者を決定できない場合、写真判定による0.001秒の実時間を考慮する。それでも同じ場合は、競技者または代理人によって公平に抽選を行い、次ラウンドへの進出者を決定する。ただし、1500mの場合は、該当者全員が次ラウンドに進出できる。
- ※競技規則TR 21を参照すること。
- (3) 写真判定装置が故障した場合、その種目の当該ラウンドを全組、手動計時に変更する場合がある。

8. トラック競技について

- (1) 不正スタートをした競技者は失格とする。
- ※競技規則TR 16.8を確認すること。
- (2) スタートの合図は「On Your Marks」、「Set」で行う。
- (3) 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュ後も自分のレーンを走ること。
- (4) リレー種目については、以下の通りとする。
- ① 同一種目において、そのリレー種目に申し込んだ競技者は、申込時と異なるチームのメンバーとして出場することはできない。また、1度出場した競技者は、それ以降のラウンドにおいて別のチームのメンバーとして出場することはできない。
 - ② リレー・チームのメンバーは、どのラウンドにおいても、本大会のリレー種目または他の種目に申し込んでいる競技者であれば、誰でも出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、そのリレー種目に申し込んだチームのメンバーの中から少なくとも2人は出場しなければならない。
 - ③ 次ラウンドにおける交代は2人以内でなければならない。なお、出場チーム数の都合上、単一ラウ

ンド(決勝のみ)となった場合、次ラウンドに進んだものとする。

※ 競技規則TR 24.10を確認すること。

※ ただし、次ラウンドに進出するメンバーを変更する場合、オープン参加の4年生は入れることができない。

- ④ 各大学において、同一のユニフォームを着用すること。ただし、デザインが同じものを着用すれば、スパッツとランニングパンツの区別は設けない。
- ⑤ 4×100mリレーでは、招集所で配付する本連盟が用意したマーカーまたは各自で用意したマーカーを使用すること。ただし、マーカーを各自で用意する際は、競技規則TR 24.4のマーカーの大きさに関する規定に従うこと。
- ⑥ リレーのメンバーに4年生以上の大学生、または社会人等の大学生以外の者が含まれている場合は、すべてオープン参加とする。
- (5) 5000m、10000mにおいては、大会当日の気象条件により給水を設置することがある。
- (7) 5000m、10000mにおいては、大会当日の状況を見て、インレーンとアウトレーンへの振り分けを行う。競技役員の指示に従うこと。
- (8) 5000m、10000mにおいては、フィニッシュの際は4レーンより外側のレーンでゴールすること。
- (9) 3000mSCにおいては、ノン・スパイクシューズでの出場を認めない。
- (10) トラック競技において、競技区域外にいるコーチや監督等の競技者以外の者は、競技者に対して競技中のタイムを伝えること(以下、タイム読みという)ができる。ただし、タイム読みは、メインスタンド、サイドスタンドおよびバックスタンドからのみ認める。許可されていない場所からのタイム読みを行った場合、競技規則TR 6.2を適用し、許可されない助力を受けたとして当該選手を失格とする場合がある。

9. フィールド競技について

- (1) 跳躍種目のバーの上げ方は、原則として以下の通りとする。ただし、練習のバーの高さについては、あくまでも目安である。また、同成績の場合は、競技規則TR 26.8を適用する。

種目・種別		練習	バーの上げ方
走高跳	男子	1m70、2m00	1m75- (5cm刻み) -2m10- (3cm刻み)
	女子	1m40、1m60	1m45- (5cm刻み) -1m55- (3cm刻み)
棒高跳	男子	3m30、4m50	3m40- (20cm刻み) -3m80- (10cm刻み)
	女子	2m10、3m30	2m20- (20cm刻み) -2m50- (10cm刻み)

- (2) 走高跳・棒高跳の練習の高さは、大会当日、競技者と競技役員の協議により設定する。また、悪天候等の不測の事態が発生した場合は、総務、審判長、本連盟による協議により、設定の高さを変更して競技を行う場合がある。
- (3) 走幅跳は、男女ともに2ピットで競技を行う。ただし、参加人数によって1ピットに変更することがある。

- (4) 三段跳は、男子は2ピットで行い、踏切線と砂場の近い方の端の距離を13mと11mに設定する。女子は1ピットで行い、踏切線と砂場の近い方の端の距離を10mに設定する。
- (5) 試技時間は以下の通りとする。試技時間を超えた場合、競技規則TR 25.18で規定されている場合を除き、無効試技として記録する。

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人以上	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技**	2分	3分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の試技

** 残っている競技者数に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。走高跳・棒高跳では、残っている競技者が2人以上、同一の高さのみ適用する。

- (6) 跳躍種目や投てき種目の公式練習については、競技役員の指示に従い、競技開始前に行うこと。
- (7) フィールド競技において、競技者は、トラック・フィールド外にいるコーチや監督等の競技者以外の者とコミュニケーションをとることができる。ただし、競技者以外の者による声かけは、メインスタンド、サイドスタンドおよびバックスタンドに設置しているコーチングエリアからのみ認める。それ以外の場所からの声かけは禁止する。コーチングエリアの場所や使用方法については、本連盟のホームページに掲載する「申し合わせ事項」を確認すること。

11. 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は主催者側が用意する。ただし、棒高跳用のポールは、各自が持参したものを使用すること。また、投てき競技で、個人所有の投てき物の使用を希望する場合は、検定を受けて合格すれば、1種目につき1人2個まで持ち込んで使用してもよい。ただし、持ち込んだ用器具は、希望がある場合、持ち主以外の競技者に使用させなければならない。なお、使用に際して破損等の事故が発生した場合は、当該使用者が責任を負うものとし、主催者側は責任を負わない。
- (2) (1)における、個人所有の投てき物の検定は、大会当日の招集完了時刻の1時間前から招集完了時刻までに用器具庫付近の南側倉庫で行う。

12. 表彰について

- (1) 各種目の優勝者には賞状・メダルを、3位までの入賞者には賞状を授与する。各種目の競技結果確定後に案内を行うので、競技役員の指示に従うこと。入賞者が表彰に来ることができない場合は、代理人を出すこと。
- (2) 閉会式において、成績の優れた男女1名ずつを最優秀選手として表彰し、最優秀選手賞としてトロフィーを授与する。

- (3) 表彰の際、上衣は各大学のユニフォーム等を着用すること。下衣は特に指定しない。

13. 抗議について

- (1) 抗議をする際は、競技規則TR 8に基づき、アナウンスで正式に結果が発表されてから30分以内に、同一日に次のラウンドが行われる種目では、その結果が発表されてから15分以内に、競技者自身または代理人が審判長に口頭で申し出なければならない。
- (2) 抗議に対する審判長の裁定を不服とし、上訴する際は、その競技者に代わるチームの代表者による上訴申立書を、預託金(10,000円)を添えて提出しなければならない。この預託金は、上訴が受け入れられなかった場合、没収される。

14. 各書類の配付場所と提出場所について

書類名	配付場所	提出場所
不出場届	インフォメーション・センター	招集所とインフォメーション・センター
重複出場届	招集所	招集所
リレーオーダー用紙	インフォメーション・センター	招集所
記録証明書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター
上訴申立書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター(要預託金)

15. その他

- (1) 競技場練習については、本連盟のホームページに掲載する「競技場練習について」を確認すること。
- (2) 記録証明書の発行を希望する競技者は、300円を持参したうえでインフォメーション・センターに申し出ること。
- (3) 競技結果等は、記録処理終了後に随時、本大会速報サイトで発表を行う。速報サイトについては、本連盟のホームページや本大会のプログラムを確認すること。記録掲示板は設置しないので注意すること。
- (4) 競技者の競技場所への入退場口は、ゲート1(フィニッシュライン付近)とゲート3(第3コーナー付近)のみとする。競技終了後は、すみやかに退場するようにすること。
- (5) 競技場図は、本連盟のホームページに掲載する「申し合わせ事項」に掲載している。
- (6) 競技者の荷物に関しては、トラック競技を終了した選手はスタート地点に戻る際、競技場の外をと十通って戻ること。ホームストレート付近は跳躍競技で混雑するため、競技以外を目的とした通行は禁ずる。
- ※ 大会運営上の都合により、「第10回九州学生陸上競技新人選手権大会 競技注意事項」の内容を変更する場合がある(大会期間中を含む)。
- ※ 以上の内容以外でも特別に競技役員から指示があった場合は、必ず従うこと。